

V 線上償還に伴う経営改革促進効果 (つづき)

2 年度別目標等

(5) 下水道事業

下段数値は当初計画値

(千円)

区分	目標又は実績	平成14年度 (計画前5年度) (決算)	平成15年度 (計画前4年度) (決算)	平成16年度 (計画前3年度) (決算)	平成17年度 (計画前2年度) (決算)	平成18年度 (計画前年度) (決算見込)	計画前5年間 実績	平成19年度 (計画初年度)	平成20年度 (計画2年度)	平成21年度 (計画3年度)	平成22年度 (計画4年度)	平成23年度 (計画5年度)	計画合計	
収入の確保	処理区域内人口(人)	2057	2042	2044	2062	2073		2095	2077	2083	2048	2048		
	A 増減	-70	-15	2	18	11	-54	22	-18	6	-35	0	-25	
	水洗便所設置済人口(人)	1641	1655	1709	1743	1761		1791	1790	1809	1792	1792		
	B 増減	6	14	54	34	18	126	30	-1	19	-17	0	31	
	水洗化率(%)	79.8	81.0	83.6	84.5	84.9		85.5	86.2	86.8	87.5	87.5		
	C 増減	2.9	1.3	2.6	0.9	0.4	8.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	
	有収水量(m)	287008	283263	280327	293742	286300		279784	267524	274633	266187	266187	266187	
	D 増減	-4992	-3745	-2936	13415	-7442	-5700	-6516	-12260	7109	-8446	0	0	-20113
	使用料単価(円/m)	97	97	96	95	94		93	95	115	115	115	115	
	(使用料収入/有収水量)	2	0	-1	-1	-1	-1	1	20	0	0	0	0	21
	料金改定率(%)	0	0	0	0	0	0	0	0	22	0	0	0	0
	(料金改定実施年度に記載)	0	0	0	0	0	0	0	22	0	0	0	0	22
	③ 収納率(%)	95	97	97	98	98	98	98	98	98	98	98	98	98
G 増減	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
④ その他()														
H 増減														
経営の効率化	職員1人当たりの営業収益(千円)	5558	5515	5398	5578	5402		5230	5057	6322	6140	6140		
	増減	-18	-43	-117	180	-176	-174	5508	6708	6736	6736	6764	6764	
	職員数(人)	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	
	増減	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	管理運営費(千円)	56857	63077	59412	61595	55619		56662	53484	49695	49350	49350	49350	
	I 増減	266	6220	-3665	2183	-5976	-972	57182	55332	48396	47784	47155	47155	
	処理区域内人口1人当たりの管理運営費(千円)	28	31	29	30	27		1043	-3178	-3789	-345	0	0	-6269
	(I/A)	1	3	-2	1	-3	0	27	27	23	23	23	23	
	汚水処理原価(円/m)	242	275	269	243	203		218	164	149	155	155	155	
	(汚水処理経費/有収水量)	-13	33	-6	-26	-40	-52	265	239	220	220	222	222	
	汚水処理原価(維持管理費)(円/m)	145	172	163	143	152		163	164	149	155	155	155	
	(汚水処理経費(維持管理費)/有収水量)	6	27	-9	-20	9	13	158	157	134	134	134	134	
	⑥ その他()													
M 増減														
収入の確保	使用料回収率(%)	400	354	358	391	465		429	579	779	742	742		
	(E/K×1,000)	22	-46	4	33	74		358	483	525	525	520		
	増減	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0		
	累積欠損金比率(%)	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0		
	増減	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0		
企業債現在高(百万円)	414	405	386	384	364		343	320	297	280	262	262		
増減	15	-9	-19	-2	-20		345	328	309	291	277	277		
増減	15	-9	-19	-2	-20		-21	-23	-23	-17	-18	-18		
収入の確保	使用料収入	27788	27575	26992	27890	27008		26152	25283	31609	30698	30698		
	改善額	-94	-307	-890	8	-874	-2157	27542	33541	33679	33679	33818	33818	
	①有収水量の増加	-94	-307	-890	8	-874	-2157	-856	-1725	4601	3267	3263	8550	
	②使用料の適正化							-856	-1725	-2345	-2345	-2345	-8597	
	③収納率の向上									5949	5590	5586	17125	
その他④()														
改善額														
経営の効率化	管理運営費	56857	63077	59412	61595	55619		56662	53484	49695	49350	49350	49299	
	うち職員給与と費中の退職手当を除いたもの	56072	62128	58409	60590	54541		57182	55332	48396	47784	47155	47155	
	改善額	0	0	0	502	1345	1847	-1100	1240	2785	2479	2326	7730	
	⑤職員給与と費の適正化	0	0	0	502	1345	1847	0	0	3717	2345	1810	7872	
	維持管理費(上記以外)の適正化	0	0	0	0	0	0	-1100	1240	-932	134	516	-142	
	うち職員給与と費中の退職手当	785	949	1003	1005	1078		1211	1345	749	796	796	796	
	増減							1211	1211	586	586	586	586	
その他⑥()														
改善額														
							計画前5年間改善額 合計					改善額 合計	16280	

○計画前年度において使用料単価150円/㎡(20㎡当たり3,000円)未満(処理原価が150円/㎡未満の場合は処理原価未満)の事業にあつては、下記に使用料適正化の考え方を記載し、当該適正化による増収額を②に記載すること。

○「収入の確保」その他④の例:未利用地の売却、資産の有効利用(用地等の貸付)、再生水の販売収入など(記入単位は百万円とするが、会計規模により千円単位でも可とする。)

○「経営の効率化」その他⑥の例:建設コストの縮減(上下水共同施工の実施、工法の見直し・技術開発の促進など。建設改良費の抑制は除く。)、電気・機械設備等の計画的修繕による長寿命化など(記入単位は百万円とするが、会計規模により千円単位でも可とする。)

(収入の確保及び経営の効率化に向けた取組みについて)

○ 使用料適正化の考え方

現在の使用料は、90円/㎡であるが、今般の状況を考慮して110円/㎡に料金改定を行いました。

○ 民間委託の取組状況

現在のところ、民間委託は行う予定はありませんが、将来的には指定管理者制度の導入も検討します。

○ その他に記載された項目に関する取組等